

# 「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757  
電話連絡先0282-22-7079(増田)  
Eメール [oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp) HP：太平山麓九条の会で検索



148号  
2019年9月20日発行

## 「無言館」と「檻の俳句館」を訪れて 平和と戦争について考えてみませんか！

「無言館」は、徴兵により画家や彫刻家、あるいはデザイナーや建築家などになる夢を断たれ、戦場に散った美術学生（戦没画学生）たちの遺した絵だけが展示されている美術館。館主の窪島誠一郎さんは、その名前の由来を自ら著した絵本の中でこう書いています。

なぜ「無言館」っていう名をつけたかって？だって 戦死した画学生さんの絵の前に立ったら悲しくて くやしくて つらくて何もいえなくなっちゃうんだもの黙るしかないんだもの。

でもたくさんの人たちに「無言館」にきてほしい。そして黙って画学生さんの絵の前に立ってほしい。

（窪島誠一郎 「約束 『無言館』への坂をのぼって」）



「檻の俳句館」は戦前に、弾圧を受け投獄された俳人たちとその俳句を紹介する文学館です。

館主は、「俳句弾圧不忘（ふぼう）の碑」（金子兜太さん揮毫）を隣接地に設けた一人で、俳人・比較文学者のマブソン青眼さん＝長野市。俳人たちの似顔絵と俳句のパネル、解説を鉄格子を模した"おり"で囲んで展示。言論や表現の自由、平和について問い掛ける。



2019年10月24日（木）

栃木市大平運動公園に7時集合 7時15分出発→17時解散予定 募集定員40名  
費用一人8,000円（バス代・入館料・弁当お茶代・保険料・写真代など）

※当日集金します

\*募集期間 9月2日（月）～10月2日（水）

〈申込先〉スタッフ萩野まで  
FAX0282-25-1533

ご存知ですか？

栃木の空に米軍機（オスプレイも）  
が飛んでいます！

栃木市の空に米軍機が飛んでいることを知っていますか？救急ヘリコプターとは音が違うのでわかります。見上げるとかなり低空で飛行しています。最近、オスプレイと聞き飛行機も目撃しました。市にも市民から苦情が来ているようで、次のようなコメントを出しています。

「この頃 米軍機が本市上空を低空で飛行していることにつまましては、市民の皆さんからも墜落を心配する不安の声や騒音への苦情などが寄せられており、市においても十分認識しております。市では米軍機の飛行ルート等の改善について、対応窓口である防衛省北関東防衛局に対し、市街地上空での低空飛行訓練を行わないことなどを米軍側に求めるよう要望しております。また、全国市長会を通じた国への要望活動として、低空飛行訓練の改善を求める要望書を提出しております。全国市長会においても要望書を取りまとめ、提言として全国会議員と関係府省等に対し提出し、その実現に向けた要請をしております。現在のところ、要望等に対して何も改善されていない状況であり、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すためにも、今後も引き続き関係機関等を通じ改善に向けた要望を実施してまいります。（平成30年6月）【担当課…危機管理課】」

この問題の根本には日米地位協定があります。この協定によって、米軍機は日本の法律に関係なく、日本の空を自由勝手に飛べるようになっていきます。米軍機が事故を起こしても、日本の警察は手を出せないのもこの協定のためです。低空飛行に抗議の声を上げるとともに、日米地位協定の改正も目指していきましょう。

（板橋 記）

# お隣と仲良くするには

郡司俊雄



お隣と仲良くするにはお隣のことをよく知らなくてはなりません。日本のお隣、韓国のことを考えてみます。

いま開かれている国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2019」で企画展「表現の不自由展・その後」が三日で中止になりました。中止を求めた河村たかし名古屋市長（芸術祭実行委員会会長代行）は、韓国の彫刻家の「平和の少女像」について「日本の国民の心を踏みにじるもの、即刻中止を申し入れる」といいました。

少女像の彫刻家キム・ソギョンは、少女像にハルモニ（おばあさん）の苦しく長かった人生や未来への夢など、すべてを込めたと言います。二日間会場にいたソギョンさん、は「説明を熱心に読み、メモをとる人や、ハルモニたちの境遇を思って涙しながら鑑賞する人もいました、多くの人から『展示してくれてありがとう』『反日の象徴だと誤解していた』と声をかけられました」と話しています。

河村たかしさんはなぜ作者ソギョンさんの思いを理解せず、日本人の心を踏みにじる作品としたのでしょうか。その底には朝鮮半島の歴史に対する無知があると私は思います。

明治の日本は日清戦争で清国を朝鮮半島から手を引かせ、日露戦争でロシアの影響を除き5年後に朝鮮を併合、日本の領土にしてしまいました。その過程で朝鮮半島の人々がたくさんの血と涙を流し、独立運動で無数の血を流し（三・一）、土地を奪われて日本に流れ（在日一世）、言葉を奪われ、名前まで奪われました。そしてアジア・太平洋戦争で慰安婦、徴用工を強制しました。私たちが加害者でした。少女像のとなりに椅子が置かれています。「座って、少女像の手を握り、ハルモニが夢見る平和を想像したとき、この像は完成します」とソギョンさんは言います。「反日」ではなく、つらい人生を歩んできた被害者への「共感」を求めているのです。

河村さんの見方は無知による偏見からでた、世界から見たらほんとに異常な見方ではないでしょうか。人々を結びつけるのではなく、切り離す危険な考え方です。

私は隣と友人になるため、まず隣をよく知ることから始めたいと思っています。

## 「金子兜太さん揮毫

### 「安倍政治を許さない」のエピソード

二〇一五年安全保障関連法(戦争法)案に反対する運動が起きていた際に、九条の会呼びかけ人である澤地久枝さんからプラカードへの揮毫を依頼された金子兜太さんは、自らの体験そのままに「安倍政治を許さない」と書き上げた。

澤地久枝さんはなんでカタカナの「安倍」なのか、と質した。返答が正しく合点がいくものであった。

「**安寧が安倍になるなんてとんでもない。むしろいま**

**安心がどんだん脅かされはじめてる世の中になつてい**  
**るので安倍首相にはこのアベで十分。こんな政権には、カタ**  
**カナでいい」**

九死に一生を得て祖国に戻ることができた辛苦極まる戦争体験をもつ金子兜太さん。非戦の世を誰よりも強く願っていたであろう。しかし、不安だけが増していく。安倍政治に「許さない」気持ち膨れ上がった。おかしな方向にばかり突き進むことへのあらん限りの抵抗の意思表明なのだろう。プラカードの太文字はずっしりと重く、求心力に満ちている。

私たちは戦争ではなく、対話に基づく平和を築き上げていくことを人類共通の理想としなければならぬ。だからこそ九条に自衛隊を書き込んで、戦争への道筋を切り開く安倍政治にはNO！を突き続ける使命がある。

(元井 記)

## 参考文献

.. 石寒太『金子兜太のことば』毎日新聞出版 2018

- スタンディング 10月9日(水) 市役所前 10月19日(土) とちぎコープ前 両日とも16時から
- スタッフ会議 10月10日(木)・11月7日(木)・11月22日(金) くららで 13時30分から
- 無言館・檻の俳句館見学旅行 10月24日(木) 1面を参照ください。